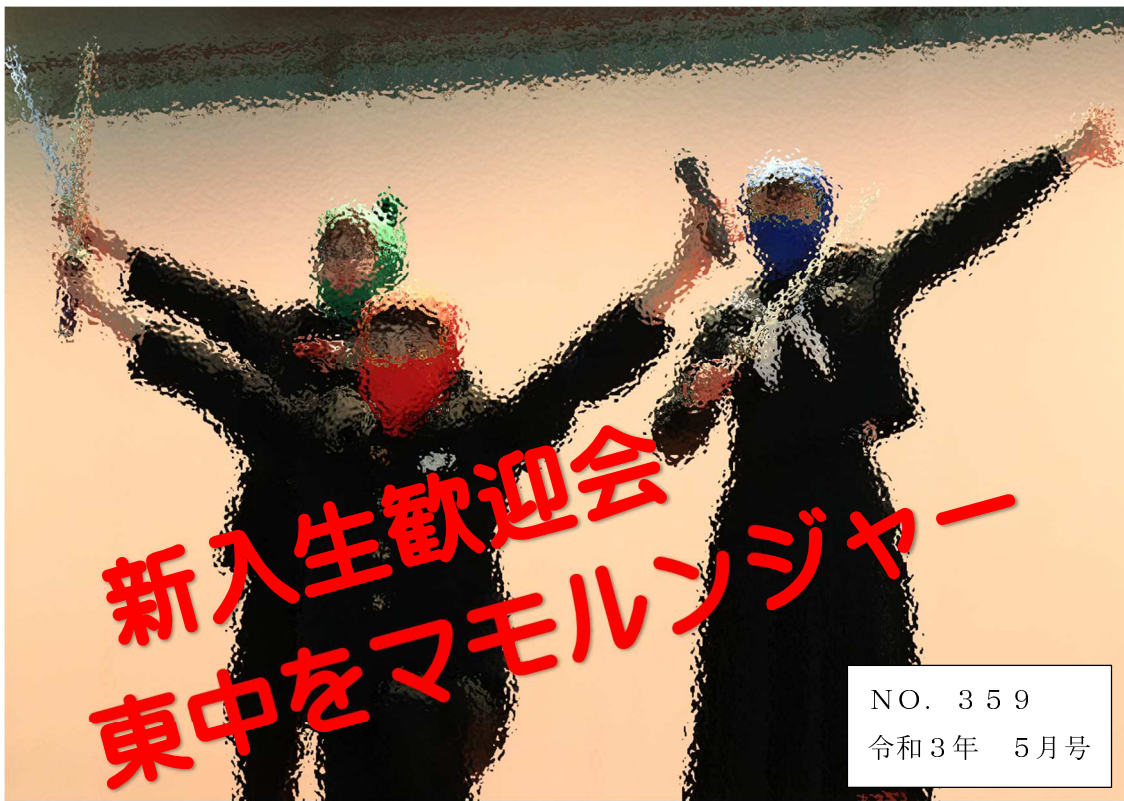




東海中新聞



NO. 359

令和3年 5月号

4月30日に行われた新入生歓迎会の一場面です。1年生を不安にさせる「ファ～ン」(P3)を打ち負かすためマモルンジャーが立ち上がりました。1年生の不安もスッキリ

やってみて…

褒めてやらねば

校長 今枝武司

ここで紹介する、山本五十六氏は、

大日本帝国海軍軍人で、太平洋戦争開戦時の連合艦隊司令長官を務めました。そこで真珠湾攻撃、ミッドウェー海戦をはじめとした歴史的にも有名な作戦を指示したことで有名で、アメリカと日本の実力差を知っていたことから、最後まで戦争に反対していたとも言われています。

戦争には猛反対です。二度と起こしてはならないと思っていますが、彼の人材育成論としての言葉に感銘を受けました。多くの方もご存じだと思いますが、紹介したいと思います。

『やってみせ、言ってみせ、聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ』

部活指導や子育てなど、人を育てる場面で大切なことが凝縮されているように思います。コーチング力です。何かを教えようとするときは、まず自分が率先してやってみせることが重要です。見ることで具体的にイメージがつかめ、理解が早いでしょう。次は、しっかりと説明するということです。見た

だけでは十分に理解できたとは限りません。言葉で補足説明をすることで、理解度が増すはず。次は実際にやらせてみることで、頭ではわかっても実際にやってみると上手くいかないことがあります。見て聞いた内容をつこつと実践することで身につけていきます。

そして、忘れてならないのは、褒めることです。出来の良さばかりを褒めがちですが、褒めるといっても間違っていないと肯定することも大切です。「それでいいよ」、「大丈夫」、「問題ないよ」でOKだと思います。

今年度当初、教職員には『褒めて 認めて 伸ばす』を合言葉に頑張っているかと話しました。東海中学校は『褒め 褒め大作戦』を展開しています。一人でも多くの生徒が、褒められることで自信をもって生活できるようになってほしいと思っています。

実は知らない人が多いかもしれませんが、この言葉には続きがあります。その言葉にもうなずかされます。

『話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず。 やっている、姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず。』

約百年前の先人に、人を動かすこと、育てること、成長させることの秘訣を教えられた感じがしました。

総体中止

愛知県に緊急事態宣言が発出された事により、五月十五日から予定されていた第六十五回岡崎市中学校総合体育大会は中止となりました。今まで頑張ってきた選手のことを考えると無念ですが、次の大会に切り替えてやっていきましよう。

ピンチはチャンスです。総体はできませんが、自分たちの活動を見直すいいチャンスだと思って振り返ってみてください。

練習を見ていたとき、こんな場面に出会いました。バッティング練習をしていた野球部のA君。左足の踏み込みが弱いと顧問から指摘されました。顧問は身振り手振りでやってみせていました。すると、A君は再び、バッティング練習。終わるとすぐに顧問の下へ。「そんな感じではないんじゃない」と言われ、安堵の表情のA君がいました。顧問と話をすると、『あの子たち、本当に野球が好きなんですよ』と。こんなサイクルで練習していますから、きつと上達していくでしょうね。

総体は中止ですが、総体に向けた選手たちの熱意込みを掲載します。この気持ちを忘れず、次の大会に向けて頑張ります。

各部の意気込み

最後の夏への一步

卓球部

僕たちは「市長杯決勝進出」を目標に日々、練習をしています。

毎日、基礎練習を積み重ねたり、練習試合でひとりひとりが見つけた課題を克服するための練習をしたりしています。そして「応援されるチーム」を目指して、試合の始め・終わりのあいさつなどの礼儀、道具の整理整頓を大切にして、ベストを尽くしたいと思っています。応援よろしくお願いします。

三度目の正直

野球部



新チームになってからの二つの大会は、どちらも惜しいところまでいったものの、敗れてしまいました。そこで、チーム全員で自分たちに足りないものを話し合っ、課題を見つけ、練習してきました。

練習試合では少しずつ成果が出てきて勝つことができています。しかし、公式戦で勝つことが目標です。次の総合体育大会では、今までの成果を全て出し、勝ち進みます。応援よろしくお願いします。

県大会出場を掲げて

女子バレー部

新人戦は一回戦で敗退し、目標である県大会出場とは程遠い結果に終わりました。目標を見失わないようチームを使ってミーティングを行ったり、部員同士で練習内容の提案や相談をしたり、自分たちから行動することを心がけてきました。

昨年、総体を行うことができなかった先輩たちの思いも一緒にのせて夏の県大会出場を目標に頑張ります。そして、粘り強く拾い、繋げ、全員で目の前の一点を掴み取ります。応援よろしくお願いします。

絶対総体優勝だ

男子バレー部

僕たち、男子バレーボール部は、総体で優勝するという目標を立て、一生懸命練習してきました。部員一人一人が自分の課題を見つけ、もっと上手くなるうと頑張ってきました。

今まで頑張ってきた練習は無駄にせず、全力を出し切る自信になると思います。今、僕たちが出せる全ての力を発揮して、全力で戦います。そして最後までバレーを楽しみ、悔いのない試合をします。応援よろしくお願いします。

できることを精一杯

男子バスケット部

この一年間は、練習の時間が減りチーム全員でぶつかり合ったり、大声を出して雰囲気盛り上げたりすることもあまりできませんでした。

しかし、限られた練習時間でも今、課題としているデイフェンスやパス、リバウンドなどチーム全員で集中してやっています。他にも、個人が足りないところを上達できるように、頭を使って練習しています。大会では、最後まで粘って走り続け、今できることを精一杯出し切り戦ってきます。

大切な試合

女子バスケット部



バスケットボールは常に仲間とプレーしていることを忘れてはいけません。一人一人の技術を仲間どう活かせるかが大切だと思います。私たちは練習の中で、個々の長所を活かせるようになり、確実にチームのレベルが上がってきていることを日々感じています。

今度の総体では、課題を見つけることも大切ですが、それ以上に仲間とバスケットをやる残り少ない場であることを自覚して、一分一秒を無駄にしない試合にしていきたいです。

ベストを尽くす

男子陸上部

総体で自己ベストを更新するため、一生懸命練習してきました。例えば、ペースのむらが生まれないように一定のペースで走る練習をしたり、理想のレースペースを刻めるようにインターバルトレーニングを積んだりしました。

また、辛い時こそ、頑張っている仲間に声援を送りました。先生に対する感謝の気持ちをこめて、自ら大きな声で挨拶しました。

大会では練習してきた成果を発揮して、自己ベストを更新します。

三年間の集大成

女子陸上部

私は中学校生活最後の総体で、悔いのない走りをしたいです。そのため、練習はもちろん全てにおいて全力で取り組んできました。部室の鍵を誰よりも早く取りに行ったり、顧問の先生がグラウンドに入ってきたら大きな声で挨拶したりするなど人一倍頑張ってきた自信があります。

総体では、100m、200mとリレーで優勝を目指します。そして、共に汗を流した仲間、顧問の先生、家族に感謝し、結果で恩返しができるよう一杯頑張ります。

優勝目指して

テニス部

僕たちソフトテニス部は、新人戦では優勝を掲げて練習してきましたが、惜しくも三位という結果になりました。悔しい思いをしたと同時に「優勝まであと少し」と僕たちにもチャンスが十分にあることが分かりました。コロナの影響であまり練習試合を多くできなかったのですが、今でも試合前は緊張して上手くいかないこともあります。

ですが、「練習は本番通り、本番は練習通り」ということを意識して優勝できるように頑張ります。

チームの目標

女子剣道部



私たちは大会でベスト3に入ることを目標に頑張っています。そのため、試合中の動きを速くしたり、打った後にひじを伸ばして、気持ちで相手に負けないように一本を取る練習したりしています。

また、一人一人の技能を高めるために、自分の課題を相手に伝え、指摘し合える練習を目指し、より質の高い練習をしています。

大会では、自分たちで立てた目標を達成できるようにします。

総体に向けて

男子剣道部

「必ず一本取って帰ってこよう」とチームみんなで目標を決め、頑張って練習を積み重ねてきました。

自分の苦手なところを少しでも克服できるように、厳しい練習にもくじけず、仲間と声をかけ合いながら、技の基本練習である「基本打ち」や試合形式で行う「試合合いこ」などの練習に取り組んできました。

しかし、男子剣道部は二年生だけで四人しかいません。他校よりも不利ですが、今までの努力を生かしてチームの目標を達成できるように全力で戦ってきます。

新入生歓迎会

四月三十日に生徒会役員と二十五名の実行委員による「新入生歓迎会」が行われました。オープニングでは写真のような生徒会役員扮する

「フアーン」が登場し、授業や部活動の大変さなど一年生の不安をおおりました。そこに表紙写真のマモルンジャーが登場し「フアーン」をやっつけ不安を解消。その後、部活動紹介などを行いました。温かい会でした。

大成功で幕を閉じた新入生歓迎会

三年執行委員

どんな体育館に入ってくる一年生たち。それと共に僕の心臓が激しく鼓動し始め、昨日まで楽しんでいた新入生歓迎会でしたが、僕を不安が包んでいました。「絶対に成功する」、「大丈夫だよ」と、周りの生徒会役員が何度も声をかけてくれました。

そして、本番。緊張はピークに達し、鼓動が痛いほど速くなりました。僕はフーツと深呼吸をして「絶対に成功させるぞ」と自分に言い聞かせ臨みました。

その結果、「東中の平和をマモルンジャー」から「学校紹介」まで、役員全員が練習の成果を発揮し、大成功で幕を閉じました。

きっと一年生の不安も少しは取り除くことができたと思います。初めての行事は次への自信となりました。



父母教師会総会

四月二十四日(土)に授業参観、父母教師会総会、専門委員会を行いました。授業参観はコロナ対策として、時間で参観者を分ける形で行いました。父母教師会総会では、令和二年度の事業報告、一般会計・特別会計報告、令和三年度の事業計画などを審議しました。

今年度から寄贈品バザーを行いました。その減収分の補填として、会費をひと月百円上げる提案の第一号議案も賛成多数で可決されました。また、生活指導委員会の名称も生活環境委員会に変更されます。

最後に、新会長の白井保隆さんの力強い言葉で締めくくられました。その後、四つの専門委員会に分かれ今年の活動方針や、内容について打ち合わせを行いました。

P T A 役員さんの抱負や専門委員会の活動内容は次号でお知らせします。



表彰の記録

アーチェリー弥生杯

十八 m / 十二 m 部門

優勝

第二位

三十 m / 三十 m 部門

優勝

岡崎市民アーチェリー大会

小中学生男子の部

第二位

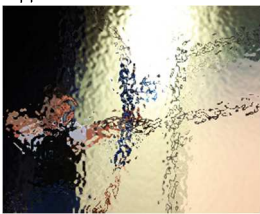
小中学生女子の部

第二位

西三河中学校春季陸上大会

女子一〇〇 m ハードル

第二位



アーチェリー卯月杯

三十 m / 三十 m 部門

優勝

第二位

第三位

アーチェリー皐月杯

三十 m / 三十 m 部門

優勝

全日本通信陸上競技西三河予選会

女子一〇〇 m ハードル

第二位

女子二〇〇 m

第二位

今後の予定

五月

二四日(月) 中間テスト

(二五日まで)

二五日(火)

全校学区 ボランティア清掃

二七日(木)

三年生全国学力・学習状況調査

三一日(月)

前期教育実習開始 (六月十八日まで)

六月

一日(火) 3年生修学旅行

十月十一日から延期

二日(水)

一年学区探検

四日(金)

一年学区探検予備日

五日(土)

資源回収(藤川・山中)

十一日(金)

教育講演会

十六日(水)

講師:映画「ビリギャル」本人 小林さやかさん

二三日(水)

期末テスト 個別懇談会 (十八日まで) 期末テスト (二五日まで)

やまなみ

教育随想

私にとって大変印象深い教え子

教頭 鈴木 淳司

教え子 A に招待され、コンサートへ行った時のことである。中二の時に担任した女性 B と再会した。素敵な大人の女性になっていたが、中学校時代の面影は残っていた。その時は、軽く言葉を交わしたくらいだった。コンサートが終わった後、A に、「B も来てたねえ。」と言うと

「先生、私のことなんて覚えてないと思うけど・・・」
 と言っていたと聞き、大変申し訳なく思った。私にとって、B は忘れられない生徒の一人だったのに、そのことが本人に伝えられていなかったことをその時初めて知ったからだ。

当時、様々な問題を抱えている生徒が何人もいたが、B は、まじめにやるべきことをしっかり行う生徒だった。注意すらした記憶もない。そんな B の姿を素晴らしいと思っていたはずなのに・・・。

私にとって B のように目立たず、まじめに生活している生徒こそ、学校生活が充実していると実感してほしい生徒である。